

科目名(Subject)	研究指導Ⅲ (Seminar III)		
単位数(Credits)	2 単位	開講時期	2年次後期
担当教員名 (Name)	研究指導教員		研究室番号 (Office) —
Office Hours	—		
<p>1. 授業目的・方法(Course objective and method) 修士論文又は課題研究の完成を目的とします。 研究テーマをもとに、担当の研究指導教員が指導を行います。</p> <p>2. 達成目標(Course Goals) 修士論文又は課題研究を完成させます。</p> <p>3. 授業内容(Course contents) 研究指導教員が学生と個別に面談の上、指導内容を決定します。</p> <p>4. 事前学修・事後学修(Preparation and review) 研究指導教員ごとに個別に学生に提示します。</p> <p>5. 使用教材(Teaching materials) 研究テーマと研究方法に応じて重要な参考図書を紹介します。</p> <p>6. 成績評価の方法(Grading) 「修士論文審査会要項」、 「修士論文及び課題研究の審査基準」、 「修士論文・課題研究最終試験審査基準」、 「修士論文・課題研究コース別審査基準」 により評価します（シラバス「VI規程関係」に掲載の審査会要項及び審査基準を参照のこと）。</p> <p>7. 成績評価の基準(Grading Criteria) 修士論文又は課題研究の審査及び最終試験により評価し、研究指導教員が小樽商科大学大学院商学研究科履修規則第6条に基づき、 秀（100点～90点）、 優（89点～80点）、 良（79点～70点）、 可（69点～60点）及び 不可（59点以下）に分け、可以上を合格とします。 （修士論文の審査基準） 経済学コース、国際商学コース、企業法学コース及び社会情報コースが定めた学術論文としての基準を満たしていること （課題研究の審査基準） 課題研究は、学術論文の形式はとらないが修士論文と同等のものであり、各コースが定めた基準を満たしていること</p> <p>8. 履修上の注意事項(Remarks) 初回授業時又は授業の都度、研究指導教員が指導します。</p>			